

彦根市子ども・若者プラン 計画目標値達成状況

資料1-2

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値(各年度12月末現在)						令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見	
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
1 子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり													
1	◎彦根市子ども・若者総合相談センターの相談者数(延べ人数) 【4】【5】	子ども・若者課	590人	800人	769人	1,097人					100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳は、総合相談延べ929人、カウンセリング延べ168人。前年度の12月度は769人のため、+328人となっている。 【実績値以外の事項に関する意見】 単純に数値だけで比較すると大きく増加しているが、成果も同様に大きくなっているとは考えていない。下の欄の実人数も増えているため、純粹に増加している部分もあるが、コロナ禍において対面の面接が減り、電話、メール等のやりとりが増加している。対面の面接であれば1度に複数相談を受けることが多いが、電話、メールであれば1つずつ質問される場合が多いため、小分けになり、相談数が増えている部分もあると考えている。
2	彦根市子ども・若者総合相談センターの相談者数(実人数) 【4】【5】	子ども・若者課	70人	100人	59人	77人					77.0%	△	【実績値に関する意見】 内訳は、総合相談77人、カウンセリング12人。(カウンセリング利用者は総合相談も重複利用)目標達成に向け、周知と併せて、利用満足度を上げていく取組(支援実績等)も必要であるとする。 【実績値以外の事項に関する意見】 割合としては保護者等家族からの相談が多い。支援地域協議会の取組として、実施した当事者ニーズのアンケート調査結果を事業に反映させ、支援とニーズのミスマッチを減らすことで利用満足度を上げるとともに新規の相談を増やせるよう取り組む必要がある。
3	博物館体験学習参加実人数 【21】	彦根城博物館	5人	80人	-	36人					45.0%	△	【実績値に関する意見】 2つ予定していたイベントの内、キッズサマースクールは開催し、36人の参加者があったが、もう一つのわくわく体験スクール「茶道を楽しもう」については、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、緊急事態宣言が県下に発出されたため、中止となった。2つのイベントが開催出来た際に数値を検証したい。 【実績値以外の事項に関する意見】 キッズサマースクールは定員を超える申し込みがあり、イベントへの関心の高さを感している。
4	子ども文芸作品応募数 【23】	文化振興課	5,093点	7,000点	7,778点	8,378点					100.0%	○	【実績値に関する意見】 令和3年度は令和2年度に引き続き目標を達成することができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 作品の募集については、市内の小・中学校(県立学校も含む)すべてに依頼をし、特に市立学校については各校の国語科主任と連携し国語科の授業の一環等で取り組むことにより事業実施についての周知を深め、文芸人口の増加を目指す。
5	図書館の未就学児の登録者数 【24】	図書館	840人	1,000人	752人	736人					73.6%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染対策のための利用制限、おはなし会・ブックスタート事業の中止・縮小等の影響により、登録者数が減少した。 【実績値以外の事項に関する意見】 図書館を安心して利用してもらえるよう、感染対策を徹底するとともに、利用者にも協力を呼びかけた。また市内感染状況に応じて、十分な感染対策を行いながら、展示やおはなし会を実施することで、魅力ある図書館づくりに努めた。その結果、実績値は減少したが、登録率は前年度同水準を維持した。(令和3年度9月末住民数6,264人 12%、令和2年度9月末住民数6,545人 12%) 今後も、当面は、感染対策のための利用制限の継続が見込まれる。感染対策を充分におこないながら、図書館の魅力を伝える情報発信や展示、イベントを実施することで登録者数の増加を目指す。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値		実績値(各年度12月末現在)						令和3年度		令和3年度実績値等に対するの担当課意見	
			令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況				
2 子ども・若者の育ちに応じたまちづくり														
6	地域子育て支援センターの整備 【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所						75.0%	□	【実績値に関する意見】 昨年度と同様に子どもセンター(きらきらひろば)、ビバシティ彦根(まんまるひろば)、東山児童館(チャチャチャひろば)の3か所で地域子育て支援センターを開設した。 【実績値以外の事項に関する意見】 子ども・若者プランの計画に基づき、来年度から地域子育て支援センターを新たに南部地域に1か所開設する予定であり、在宅乳幼児とその保護者の支援を行うことで、地域における子育て支援の充実を図る。
7	保育所待機児童の解消 【47】【50】【51】	幼児課	29人	0人	56人	9人						0.0%	△	【実績値に関する意見】(4月1日現在の数値) 令和3年4月から、認可外保育施設から地方裁量型認定こども園に移行した施設1園、既存施設の増築により定員を増加した施設2園の整備により、量的拡充を行った結果、待機児童数の減少に繋がった。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度からの入所審査において、AIによる審査を導入し、希望園への入所や兄弟同時入所となるよう調整することで、利用保護者の満足度向上に繋げることができた。
8	利用児童数(2号、3号)	幼児課	2,739人	3,057人	2,787人	2,816人						92.1%	△	【実績値に関する意見】(10月1日現在の数値) 令和3年4月から、認可外保育施設から地方裁量型認定こども園に移行した施設1園、既存施設の増築により定員を増加した施設2園の整備により、量的拡充を行った結果、利用児童数が増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度からの利用定員拡大のため、新規園を含む民間施設の整備に対して補助金の交付を行った。
9	保育士数	幼児課	719人	834人	747人	754人						90.4%	△	【実績値に関する意見】(10月1日現在の数値) 令和3年4月から認可外保育施設から地方裁量型認定こども園に移行したことにより、当該施設分の保育士数が増加となった。 【実績値以外の事項に関する意見】 保育士確保に向けた取組として保育士フェアの開催や大学等への訪問などを行うとともに、各施設長等を対象としたマネジメント研修の実施や奨学金返済支援、宿舍借り上げ支援など、保育士の定着に向けた取組を併せて実施した。
10	児童生徒の全国学力学習状況調査 における正答率の全国平均との差(小学校) 【55】【56】	学校教育課	-1.1%	0.6%	-	-2.5%						95.8%	▼	【実績値に関する意見】 各校で取組を進めたが、全国平均との差を縮めるには至らなかった。これまでの取組の成果と課題を分析し、第Ⅱ期彦根市学力向上推進プランを見直して作成した第Ⅲ期彦根市学力向上推進プラン(学び実感ひこねプラン)に則って、各校の取組を充実させることにより、学力の向上を図る。 【実績値以外の事項に関する意見】 学ぶ力向上推進リーダー研修会を実施し、確かな学力の向上に向けた令和3年度の市の重点取組である「家庭学習の充実に向けた中学校ブロックの共通実践」および「OJT活性化」に年間通して取り組むことにより、中学校ブロックの共通実践、校内におけるOJTの実施が定着してきた。次年度も継続して取り組むことで、児童の確かな学力の育成を図る。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値(各年度12月末現在)					令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	
11 児童生徒の全国学力学習状況調査における正答率の全国平均との差(中学校) 【55】【56】	学校教育課	-1.8%	0.6%	-	-1.4%				97.1%	△	【実績値に関する意見】 令和元年度と比較すると、全国平均との差を縮めることができた。これまでの取組の成果と課題を分析し、第Ⅱ期彦根市学力向上推進プランを見直して作成した第Ⅲ期彦根市学力向上推進プラン(学び実感ひこねプラン)に則って、各校の取組を充実させることにより、学力の向上を図る。 【実績値以外の事項に関する意見】 学ぶ力向上推進リーダー研修会を実施し、確かな学力の向上に向けた令和3年度の市の重点取組である「家庭学習の充実に向けた中学校ブロックの共通実践」および「OJT活性化」に年間通して取り組むことにより、中学校ブロックの共通実践、校内におけるOJTの実施が定着してきた。次年度も継続して取り組むことで、生徒の確かな学力の育成を図る。
12 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点(小5男子) 【56】	学校教育課	55.24点	56.00点	-	52.00点				92.9%	▼	【実績値に関する意見】 令和2年度は、コロナウイルス感染症のために中止となり2年ぶりの調査となった。全国・県・彦根においても平均値は令和元年度の数値を下回った。彦根市は、県よりは上位にあるが全国平均値よりは低位になる。特筆すべきことは、上体おこしが大変高い数値を示しており、逆に握力が大変低い数値であったこと。握力を滋賀県平均までもっていくことが目標である。 【実績値以外の事項に関する意見】 体力低下の主な要因として、コロナ下で各種学校活動が制限されたことに加え、従来からの運動時間の減少、スマートフォンやゲームの利用時間の増加などがあげられる。
13 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点(小5女子) 【56】	学校教育課	56.30点	57.00点	-	53.64点				94.1%	▼	【実績値に関する意見】 令和2年度は、コロナウイルス感染症のために中止となり2年ぶりの調査となった。全国・県・彦根においても平均は令和元年度の数値を下回った。彦根市は、県よりは上位にあるが全国平均値よりは低位になる。特筆すべきことは、長座体前屈は大変高い数値を示しており、逆に握力が大変低い数値であったこと。握力を滋賀県平均までもっていくことが目標である。 【実績値以外の事項に関する意見】 新型コロナウイルス感染拡大で「外遊び」やスポーツの機会が減った影響で、子どもの体力が大きく低下していることが分かった。
14 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の参加団体・機関等数 【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	0団体	25団体				62.5%	▼	【実績値に関する意見】 12月末までには、実務者会議を1回実施したのみとなり、参加団体は25団体。2月に第2回実務者会議、第3回実務者会議(サロン情報交換会)を実施しており、それを合わせると31団体となる。 【実績値以外の事項に関する意見】 団体数は減少しているものの、今年度は、当事者ニーズを聞けていないという課題に対して、当事者へのアンケート調査を実施した。約70件の回答をいただき、とても貴重なアンケートとなった。今後、行政や実務者会議の支援機関が当事者ニーズをどれだけ反映させることができるかが重要となる。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値(各年度12月末現在)						令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見	
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
3 みんなが共に育つために子ども・若者を支援するまちづくり													
15	家庭相談件数(実人数) 【87】【88】【90】	子育て支援課	766件	947件	869件	894件					94.4%	△	【実績値に関する意見】 相談件数は毎年増加している。これは、家庭児童相談の認知度が上がっており、他機関からの紹介が増えることにより、相談件数が増加しているものと考えている。 【実績値以外の事項に関する意見】 相談内容は多岐にわたるため、他機関連携が益々重要となっている。
16	ひとり親家庭への就労支援による就職件数 【116】【117】	子育て支援課	14件	20件	11件	4件					20.0%	▼	【実績値に関する意見】 コロナ禍のなか現況届の受付を郵送対応としたことにより、来所して相談されるひとり親が大きく減少したが、社会福祉課と連携しながら生活保護を受給しているひとり親への就労支援を積極的に行った。 【実績値以外の事項に関する意見】 就職後のアフターフォローをすることで、就労先の継続雇用に繋げていく。
17	◎地域での子どもの居場所の整備 (学べる場・子ども食堂) 【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	10か所	22か所					91.7%	△	【実績値に関する意見】 内訳：現在活動中の団体としては、学べる場8か所、子ども食堂10か所、フリースペース1か所、居場所3か所の計22か所ある。(うち、いい場所づくり事業補助金交付団体は9団体。) 【実績値以外の事項に関する意見】 R3.3月の時点での24か所と比較し、減少しているが、コロナ禍において、食事の提供等の活動は継続するのが難しい中、大変な苦労をしながら実施いただけていることは大変ありがたいと考えている。 また、補助金は制度上3年を限度としており、今年度末で3年経過する団体が多数あるため、次年度以降、補助が終了となった団体の運営状況等に留意していく必要がある。
4 子ども・若者と子育て家庭にやさしいまちづくり													
18	夜9時までに寝ている3歳児の割合 【150】【180】	健康推進課	54.6%	59.0%	52.0%	52.4%					88.8%	▼	【実績値に関する意見】 乳幼児健康診査で、「規則正しい生活リズム」の啓発チラシを配布し、保護者に対して生活リズムについて啓発することができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後も乳幼児健康診査だけでなく、個別相談や離乳食教室など様々な機会を通じて、生活リズムについて啓発していく。
19	むし歯のない3歳児の割合 【150】【180】	健康推進課	84.7%	90.0%	89.1%	87.8%					97.6%	△	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8・9月の乳幼児健康診査を延期したが、振替の日程を設け、幼児健診で歯みがき指導やフッ素塗布、歯科健診を実施することができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、幼児健診で歯磨き指導や口腔内の清潔について啓発していくとともに、個別相談や健康教室などの機会を通じて、虫歯を予防する食生活や生活リズム等について啓発していく。
20	小学校区単位で結成される自主防犯活動団体結成数 【160】	まちづくり推進課	13団体	17団体	13団体	13団体					76.5%	□	【実績値に関する意見】 残り4小学校区での結成がなかなか難しい状況であることから、次年度以降、既結成の13団体で改めて補助の希望があれば検討し、併せて未結成の4小学校区における結成を促すよう努めていく。 【実績値以外の事項に関する意見】 現在、自主防犯活動団体は13団体であるが、団体により活動の実態はさまざま。また、残り4小学校区については、小学校区単位での団体結成は進まないものの、市内全体としては防犯意識は高く、指標自体の見直しを検討する必要があると感じている。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値(各年度12月末現在)						令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
21 子ども110番の家の設置数 【160】【163】	少年センター	2,069か所	2,236か所	2,080か所	2,061か所					92.2%	▼	【実績値に関する意見】 高齢により辞退される方が増えている中で、新規開拓が必要である。各学区の青少年育成協議会にて広く広報してもらう必要がある。 【実績値以外の事項に関する意見】 実際に子どもが駆け込む事例はほとんどないが、こういった看板が多く掲げられている地域や見知らぬ人にも挨拶などの声掛けをされる地域においては、犯罪者心理として、犯行を避ける傾向があることから抑止力として一定の効果があると考えている。
22 ◎養育支援訪問件数 【211】【219】	子育て支援課	1,253件	1,549件	-	-					-	-	【実績値に関する意見】 訪問件数は年度末に集計しているため、12月末時点での件数は不明。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から訪問による対応は減少となる見込みである。 【実績値以外の事項に関する意見】 訪問することでしか確認できないこともあるため、少ない訪問機会でも効果的な面接および確認ができるようにする必要がある。
23 乳児家庭全戸訪問率 【149】【223】	健康推進課	98.0%	100.0%	66.6%	83.6%					83.6%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4・5・10月は対面訪問を中止し、資料の投函のみとした。また、8・9月はまん延防止等重点措置、緊急事態宣言を受け訪問を全面中止したが、対象者を10月以降に延期とし、11・12月で対面訪問を再開したため、前年度より訪問数は増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での訪問ができない時期もあるが、感染拡大状況に応じて実施方法を検討し、引き続き実施していく。
5 すべての子どもが希望をもって成長できるまちづくり												
24 家庭支援推進保育士の配置 【47】【117】	幼児課	11園	13園	11園	12園					92.3%	△	【実績値に関する意見】 公立園4園、民間園8園に家庭支援推進保育士を配置し、家庭支援を行った。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和3年度は、各園に配置する家庭支援推進保育士の他に、各施設を巡回し指導、支援する地域連携推進員を2名配置し、支援内容の充実を図った。
25 就学援助認定基準の拡大 【178】	学校教育課	生活保護 の基準の 1.2倍	拡大	1.2倍	継続					-	□	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症に伴う収入減により、年度途中から認定事由に該当した家庭についても、制度の周知に努め、随時申請を受け付け援助を行った。 【実績値以外の事項に関する意見】 前年度から継続して、新小学1年生および新中学1年生の希望者に対して新入学児童生徒学用品費を入学前に支給し、必要な時期に援助ができるよう実施した。
26 スクールソーシャルワーカーの配置 【183】【222】	学校支援・人権・ いじめ対策課	1名	2名	2名	2名					100.0%	○	【実績値に関する意見】 市内全ての小中学校に派遣し、適切な見立てのもと、支援の充実を図った。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、関係機関等との連携に努め、支援体制の充実を図っていきたい。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値(各年度12月末現在)						令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
27 【再掲】 ◎地域での子どもの居場所の整備 (学べる場・子ども食堂) 【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	10か所	22か所					91.7%	△	【実績値に関する意見】 内訳：現在活動中の団体としては、学べる場8か所、子ども食堂10か所、フリースペース1か所、居場所3か所の計22か所ある。(うち、いい場所づくり事業補助金交付団体は9団体。) 【実績値以外の事項に関する意見】 R3.3月の時点での24か所と比較し、減少しているが、コロナ禍において、食事の提供等の活動は継続するのが難しい中、大変な苦勞をしながら実施いただけていることは大変ありがたいと考えている。 また、補助金は制度上3年を限度としており、今年度末で3年経過する団体が多数あるため、次年度以降、補助が終了となった団体の運営状況等に留意していく必要がある。
28 若者の居場所の整備 【102】【199】	子ども・若者課	2か所	3か所	2か所	2か所					66.7%	□	【実績値に関する意見】 前年度と同様の2か所となっている。(彦根市子ども・若者総合相談センターと通信サロン) 【実績値以外の事項に関する意見】 財政が厳しい中、1か所増やすのは厳しい状況にある。助成金の活用等も含め、新たな実施方法等の研究も必要と考えている。
29 ひとり親家庭の子どもに対する学びと食の支援による居場所参加人数 【200】	子育て支援課	12人	16人	6人	9人					56.3%	▼	【実績値に関する意見】 中学生の子どもを持つひとり親家庭への周知により、前年度よりも増員となった。 【実績値以外の事項に関する意見】 子どもの学力を心配して参加させようとするひとり親と、息抜きのための時間として参加する子どもとの意識の違いが印象的であり、子どもにとっていつでも立ち寄れる、心の居場所づくりを図っていく。
30 子育て短期支援事業受入施設数 【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所					66.7%	□	【実績値に関する意見】 新たな受け入れ可能な里親の確保を進めていく必要がある。 【実績値以外の事項に関する意見】 トワイライトステイ(夕方から夜間にかけての短時間利用)の利用がない状態であるため、ニーズの確認が必要と考えている。
31 自立支援教育訓練給付・高等職業訓練促進給付金受給者数(のべ人数) 【206】	子育て支援課	21人	52人	30人	36人					69.2%	△	【実績値に関する意見】 コロナ禍により休校や課題提出も頻繁にあるなか、資格取得に向けて真面目に取り組む受講者の姿があった。 【実績値以外の事項に関する意見】 来年度は制度が拡充される予定であり、積極的に周知することで、ひとり親家庭の資格取得を促進し、就労支援による継続雇用へ繋げていく。
32 ひとり親家庭向け市営住宅の募集 【214】	建築住宅課	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間					100.0%	○	【実績値に関する意見】 市営住宅入居者募集において、ひとり親世帯からの一定のニーズがあることを当課でも把握している(R3年度入居申込者36世帯のうち、9世帯がひとり親世帯に該当)ため、今後も市営住宅の需給推移(空室状況等)を注視しながら、ひとり親世帯からの入居希望に対して支援を継続していく。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後さらにひとり親世帯からの要望が増加した場合、ひとり親家庭向けの部屋には上限があるため、要望のすべてにお答えすることができない点についてどのような改善策があるかを検討していくことも必要である。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値(各年度12月末現在)						令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見
			令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
33 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の参加団体・機関等数【再掲】 【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	0団体	25団体					62.5%	▼	【実績値に関する意見】 12月末までには、実務者会議を1回実施したのみとなっており、参加団体は25団体。2月に第2回実務者会議、第3回実務者会議(サロン情報交換会)を実施しており、それを合わせると31団体となる。 【実績値以外の事項に関する意見】 団体数は減少しているものの、今年度は、当事者ニーズを聞いていないという課題に対して、当事者へのアンケート調査を実施した。約70件の回答をいただき、とても貴重なアンケートとなった。今後、行政や実務者会議の支援機関が当事者ニーズをどれだけ反映させることができるのかが重要となる。
34 ◎地域資源を掘り起こし、育成する体制の構築 【230】	子ども・若者課	整備	構築	構築中	整備					-	□	【実績値に関する意見】 彦根市社協へ業務を委託している。活動件数の内訳は(11月末まで)、情報収集・一覧化296件、活動相談・体制整備56件、ネットワーク形成29件、市民啓発・情報発信13件、仕組みづくり43件。 【実績値以外の事項に関する意見】 これらの活動が、地域での子どもの居場所づくり等へ繋がっている。子ども・若者支援をキーワードとした地域づくりの体制が構築されるように、新たな仕掛けや仕組みなどを検討していく必要がある。
6 教育・保育環境の整備												
35 利用者支援事業実施箇所数 【33】【43】【136】	子ども・若者課 健康推進課	2か所	2か所	2か所	2か所					100.0%	○	【実績値に関する意見】 昨年度に引き続き彦根市福祉センターと彦根市くすのきセンターの2か所で利用者支援事業を実施した。 【実績値以外の事項に関する意見】 福祉センターでは保育サービス等に関する相談、くすのきセンターでは母子保健等に関する相談を受けているが、適切な施設や事業等をスムーズに利用できるよう支援することで子育てのしやすい環境を整える。
36 放課後児童クラブ受入児童数 【71】～【74】	生涯学習課	1,393人	1,437人	1,420人	1,497人					100.0%	○	【実績値に関する意見】 利用希望児童をすべて受け入れることができた。また新型コロナウイルス感染防止対策のタブレット学習課題にも対応し、WiFi環境整備やアプリ活用による迅速な連絡体制の構築等に取組み、保育環境の充実にも取り組んだ。 【実績値以外の事項に関する意見】 長引くコロナ禍ではあるが、できる限りの対策に取り組み、社会活動を維持するために保育を止めることなく実施した。保育現場と学校、教委、保護者が連携・協力体制をとって運営に取り組み、子どもたちの育ちと保護者の子育ての支援を行った。
37 【再掲】 子育て短期支援事業受入施設数 【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所					66.7%	□	【実績値に関する意見】 新たな受け入れ可能な里親の確保を進めていく必要がある。 【実績値以外の事項に関する意見】 トワイライトステイ(夕方から夜間にかけての短時間利用)の利用がない状態であるため、ニーズの確認が必要と考えている。
38 【再掲】 乳児家庭全戸訪問の訪問割合 【149】【223】	健康推進課	98.0%	100.0%	66.6%	83.6%					83.6%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4・5・10月は対面訪問を中止し、資料の投函のみとした。また、8・9月はまん延防止等重点措置、緊急事態宣言を受け訪問を全面中止したが、対象者を10月以降に延期とし、11・12月で対面訪問を再開したため、前年度より訪問数は増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での訪問ができない時期もあるが、感染拡大状況に応じて実施方法を検討し、引き続き実施していく。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値(各年度12月末現在)					令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
39 【再掲】 養育支援訪問件数 【219】【228】	子育て支援課	1,253件	1,549件	-	-				-	-	【実績値に関する意見】 訪問件数は年度末に集計しているため、12月末時点での件数は不明。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から訪問による対応は減少となる見込みである。 【実績値以外の事項に関する意見】 訪問することでしか確認できないこともあるため、少ない訪問機会でも効果的な面接および確認ができるようにする必要がある。
40 【再掲】 地域子育て支援センターの整備 【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所				75.0%	□	【実績値に関する意見】 昨年度と同様に子どもセンター(きらきらひろば)、ピバシティ彦根(まんまるひろば)、東山児童館(チャチャチャひろば)の3か所で地域子育て支援センターを開設した。 【実績値以外の事項に関する意見】 子ども・若者プランの計画に基づき、来年度から地域子育て支援センターを新たに南部地域に1か所開設する予定であり、在宅乳幼児とその保護者の支援を行うことで、地域における子育て支援の充実を図る。
41 保育所における一時預かり事業の実施 【53】	幼児課	15園	18園	10園	13園				72.2%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き受入を休止している園があったが、昨年度と比べて実施園数が回復している。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度からの新規園に対し、一時預かり事業の実施に向け、申請手続き等の調整を行った。
42 病児・病後児保育事業の利用人数 【37】	幼児課	564人	660人	137人	375人				56.8%	▼	【実績値に関する意見】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症により利用者が大きく減少していたが、令和3年度は感染者数が比較的少数であった6～8月を中心に利用者が回復している。 【実績値以外の事項に関する意見】 利用者アンケートを実施したところ、概ね利用者の満足度を満たしているが、まだ病児保育の認知度が低いことから、今まで利用したことのない方にも事業周知の必要がある。
43 ファミリー・サポート・センター提供会員の確保 【42】	子ども・若者課	181人	194人	169人	154人				79.4%	▼	【実績値に関する意見】 令和3年度は未活動の会員が多く辞められたこともあり、昨年度より提供会員が減少したが、ポスター掲示等により会員募集の周知に努めた。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度は広報の特集号でファミリー・サポート・センターの記事を掲載する等更に周知活動を行い、事業内容を多くの方に知ってもらうことで、会員の増加を図る。
44 妊婦健康診査 受診回数 【133】	健康推進課	10,851回	13,300回	9,553回	7,664回				57.6%	▼	【実績値に関する意見】 母子手帳交付時の面接で妊婦健診について説明をし、妊婦健康診査受診券を発行しているが、月平均60件前後の妊娠届出数で年々減少傾向である。それに伴って妊婦健康診査受診回数も減少している。 【実績値以外の事項に関する意見】 年々妊娠届出数、出生数が減っており、少子化対策等の充実が必要と思われる。
計画目標値の達成率									78.4%		

※分野と指標の下の数字は、「彦根市子ども・若者プラン(第2期)」の第4章施策の展開に掲載されている施策の番号になります。

※達成率は、(令和元年度状況÷目標値)を%で表したものです。また、100%を超える場合は、100%としています。計算式が異なる場合は「(パー)」としています。

※達成状況は、目標値が達成できた場合は○、目標値は達成できなかったが現況値よりも改善された指標は△、現況値から変更が無かった指標は□、現況値よりも後退した指標は▼としています。